



## 安曇野産材に触れて楽しむ

9/22 さとぶろ。あづみの里山市

第1回あづみの里山市が9月22日、林友ハウス工業(株)(穂高)で開催されました。この催しは「市里山再生計画」のプロジェクト「さとぶろ。」の取り組みとして、市内の里山にある木を気軽に触れ、活用してもらおうと開催しました。当日は、松枯れ材の販売や安曇野産材を使った住宅相談、木工体験などが行われ、約200人が会場を訪れました。マイ箸づくり体験をした中川聡一郎くん(穂高北小2年)は「木を削るのが大変だったけど楽しかったです。自分の作った箸でご飯を食べるのが楽しみです」と話してくれました。



## 篠ノ井線の魅力を発信

9/24 「いろどり木曽路号」をおもてなし

イベント列車「いろどり木曽路号」の運行に合わせ、篠ノ井線松本地域活性化協議会によるおもてなし事業が9月24日、明科駅と塩尻駅との間で行われました。当日明科駅では、明科駅前まちづくり委員会の協力により明科龍神太鼓の皆さんによる和太鼓の演奏や、明科地域子ども会育成会の子どもたちによる手旗や横断幕で歓迎しました。このほか車中ではおやきの配布や松本地域の方言劇なども行われ、市や篠ノ井線沿線地域の魅力を宣伝しました。

## 白熱したレースに大声援

9/25 第48回安曇野観光草競馬大会

第48回安曇野観光草競馬大会(安曇野競馬愛好会主催)が9月25日、市営牧運動場で行われました。爽やかな秋晴れの中、競走馬、ポニーなど39頭が出走し白熱したレースを展開しました。この日は市内外から約3,000人が来場しレースを楽しみました。来場者が指定されたレースの1着を予想する「勝ち馬当てレース」では、出走馬に大声援が送られていました。

このほか会場には、ウサギやヤギなどの小動物とのふれあい広場や小学生以下の子どもたちを対象としたポニーの乗馬体験コーナーも設けられ、多くの家族連れが楽しんでいました。



## 秋空の下 校庭に歓声が響く

9/17 市内小学校で運動会

市内小学校の運動会が行われ、9月17日には6校で行われました。

このうちの堀金小学校(児童573人)では、騎馬戦や各学年代表によるリレーなどが行われました。

また、豊科南穂高の豊科北小学校(児童526人)では、全学年参加による大玉送りや5・6年生による組体操の披露などが行われました。

それぞれの学校では、家族やクラスの仲間や、家族からの声援を受け、子どもたちは、元気いっぱい競技や演技をしていました。

## 変化する言葉 心地良い日本語とは

9/10 市民大学講座(特別編) 金田一秀穂さん講演会

市民大学講座(特別編)(市教育委員会主催)が9月10日、堀金総合体育館で開催されました。この日は、市民約300人が出席。杏林大学外国語学部教授で、テレビなどで活躍する金田一秀穂さんが「心地良い日本語」と題して講演しました。金田一さんは、明治期の言葉や若者の言葉などの事例を交え、言葉は時代と共に変化するとしながら、「心地良い日本語とは、正しい用法などではなく、状況に応じて違和感なく認識できるよう相手へ配慮した言葉を使うこと」と話しました。また、方言について「相手に気持ちや心が伝わる美しい日本語。ぜひ大切にしてほしい」と会場に呼び掛けました。



## 市役所でスイーツを味わう

10/7 「あったカフェ」で「やさしいスイーツ」販売

市内の障害者施設が共同運営する市役所の喫茶コーナー「あったカフェ」で「安曇野やさしいスイーツ」の先行販売が10月7日に行われました。この企画は、カフェの活用とフェアの宣伝をしようと「あったカフェ」と「安曇野やさしいスイーツプロジェクト」の合同イベントとして初めて開催しました。当日は、正午の販売開始前から20人程の行列が並び、購入後には早速カフェで味わう姿も見られました。この日、用意した約350個は完売する盛況ぶりでした。